昭和61年8月5日洪水から40年の関連行事

昭和61年8月5日洪水を語り継ぐ座談会（令和8年10月9日）

- 吉田川の堤防が4カ所で決壊し、大崎市鹿島台（旧鹿島台町）地域で甚大な被害が生じた「昭和61年8月5日洪水」から令和8年で40年が経過。
- 当時の状況を知る地域の方々の証言を記録し、災害の経験や教訓を決して風化させることなく、未来の地域社会を担う世代へ伝えていくため、座談会を開催。
- 仙台放送アナウンサーの佐藤拓雄氏に進行いただき、地域の4名の方々から被災当時の状況や復旧・復興過程でのエピソード、今後の防災・減災に向けての想いなどをお話いただきました。
- あの日の経験の記憶を共有し、記録として後世に残していくことで、防災意識の向上と地域防災力の強化につながる有意義な座談会となりました。

〇開催日時：令和8年10月9日（金）
13：30～15：30

〇会場：吉田川志田谷地防災センター
（宮城県大崎市鹿島台大迫字川北）

〇出演者
・武藤 勝実 氏
（当時　水防活動に従事
現　大崎市上志田地区行政区長）

・遠藤 猛雄 氏
（当時　鹿島台町職員）

・渡邊 安子 氏
（当時　鹿島台町食生活改善推進委員会副会長
現　大崎市食生活改善推進委員会会長）

・齋藤 健治 氏
（当時　古川高校在学
現　大崎市上下水道部長）

〇進行役
佐藤 拓雄 氏（仙台放送アナウンサー）



司会進行を行う、佐藤拓雄 氏



被災当時の状況を語る4名の出演者


4名の出演者の話に耳を傾ける参加者


昭和62年3月作成の被災映像を鑑賞する参加者